

平成19年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

・指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理いたします。
・コンプライアンスを重視し、常に快適な施設を目指し、施設・設備のメンテナンスに配慮し、備品管理、清掃、警備、周辺植栽管理に努め、G30の推進を目指します。運営の迅速、効率化を心がけ、空調設備、消防設備、エレベーター等の定期点検に努め、安全で快適な地域ケアプラザとして、運営してまいります。
・また、地域に信頼され、地域の中核施設となるよう努めてまいります。

イ 効率的な運営への取組について

ケアプランの作成、給付管理やデイサービスの提供など、速やかにサービスに繋げるとともに、内容の充実を図ります。
総合相談業務については、関係機関との連携を強化し、速やかなサービス提供等問題解決に努めます。
各スタッフ間の連絡を強化し、ノーハウを共有し、各セクションの業務に活かすとともに、施設内外の人材の相互活用を図ります。
帳票を初めとして事務ツールの改善、誰でもが利用しやすいファイルシステムの実現を図ります。
所内の会議の効率化、情報の共有化を推進し、無駄のない運営を心がけます。

ウ 苦情受付体制について

利用しやすい受付案内 電話、ホームページ等による、苦情受付案内の実現。スタッフが利用者の相談を適切に対応できるよう、職員研修を実施します。
意見を言いやすい環境づくり 誰でもが苦情や意見を延べ易いように、窓口（苦情相談窓口、ご意見箱、HPでの受付など）の充実を図ります。
「苦情相談対応マニュアル」に沿って、苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し、受付体制を運用していきます。
法人として、公正・中立な立場から[第三者委員会]を設け、適切な運営に努めます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ A E Dの設置に伴い、18年4月に職員31名がA E Dの取扱い講習を受講済です。
- ・ 引き続き新採用職員についても講習を実施します。
- ・ 夜間はセキュリティシステムが稼動しています。
- ・ 「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」に沿って、万が一の事故に発生に備えています。
- ・ 災害時特別避難場所としての役割を認識し、災害時の備蓄物資を整備し、適正に保管しています。
- ・ 緊急連絡網を定期的に更新し、活用できるようにしています。

オ 事故防止への取組について

- ・ 介護サービスの提供中のヒヤリハット事例を記録し、かつ、朝夕のミーティングやスタッフ会議にて、注意を喚起し、事故の未然の防止に真剣に取り組んでいます。
- ・ 法人が運営する施設の事故報告を共有化し、各施設で、事故の分析、再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に努めます。

カ 情報公開への取組について

- ・ 「開かれた施設」を基本姿勢とし、積極的に情報を公開することに努めます。
- ・ 施設のホームページを活用し、最新の情報に更新して積極的に公表していきます。

キ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 横浜G30プランに基づき、ゴミの減量化、再資源化に努めます。
- ・ 使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には、適切な室温を維持して、節電・節水を心がけ、省エネルギー対策に取り組めます。また、本年度、節水システムを導入し、水の使用削減に努めます。
- ・ 全館禁煙です。
- ・ 施設の緑化には、地域のボランティアの協力をいただき、春・秋の植栽剪定を行い、花壇の維持管理を行います。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

- ・ 要員の欠員が出ないように配慮し、かつ、欠員補充が出た場合には、公募による採用を行い、中堅・新人等経験から適材適所の配置をし、職場の活性化を推進します。
- ・ 資格要件等の職員配置基準を満たした配置を維持します。
- ・ 常勤職員及び非常勤職員の役割を見直し、人件費の効率化に努めます。

イ 職員の研修計画について

- ・年初に計画した年間研修計画により、更なるサービス提供を目指して、職員の定期的な研修を実施します。
- ・新任職員には、即戦力となるようOJTにより関係職員が指導します。
- ・職員は、計画的に法人及び施設内の定期研修のほか、外部の各研修に職種毎に積極的に参加し、専門的な技術・技能・資格を取得できるよう努めます。
- ・非常勤職員全員が、地域ケアプラザ職員としての対応サービス等を研修します。

ウ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき、個人情報の保護に努めます。
- ・公の施設であり、指定管理者制度の施設であることを、常勤・非常勤職員全員が周知して、個人情報保護の研修を終了して、その趣旨で行動することを徹底し、個人情報保護に関する誓約書に署名しています。
- ・個人ファイル等はすべて書庫に施錠して保管管理し、不要になった場合はシュレッダーを使用して破棄しています。
- ・個人情報の誤送付、誤送信の防止を徹底し、個人情報の漏洩の起こらないシステムの徹底を図ります。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

- ・公の施設として、西区役所の関係担当部署との連携を努めます。
- ・地域ケアプラザだけでは、解決が出来ない処遇困難ケース等は、区役所・医療機関・介護サービス事業者・地域の様々な団体/組織との連携を図ります。
- ・地域福祉の推進では、区社会福祉協議会・地区社会福祉協議会等との連携を密にし、協働して、福祉のまちづくりを推進します。

イ 施設や自主事業に関する広報・PRへの取り組みについて

- ・当施設の機関紙の発行、地域利用者への配布を通して、当施設や事業のPRに努めます。また、区の広報への掲載を必要に応じて依頼します。
- ・自治会・町内会、老人会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等地域の諸会議、諸行事に参加し、施設・事業の周知を図ります。
- ・HPの画面の更新を適宜行い、時季に応じた諸行事の紹介等も行っています。

ウ 地域ネットワークの構築について

- ・第1地区、第4地区の福祉保健のネットワークを構築します。
- ・地域で子ども達の安全を守るネットワークを構築します。
- ・当プラザを拠点に活動しているボランティアや団体による地域支援のネットワークを形成します。
- ・プラザの貸室利用団体が、地域の福祉保健活動に参画できるよう関係作りを行います。

エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

・地域あつてのケアプラザであり、地域団体との連携を重視しながら、特に町内会役員や民生委員、老人会役員等に、日頃から地域のニーズや課題を提供していただき、問題ケースの早期発見に協力していただき、対応していくための連携を構築していきます。・地域団体の会合には、積極的に参加し、地域の状況を把握すると同時に、制度や地域ケアプラザのPRを行い、情報交換をしながら連携して、地域における高齢者や子育ての支援に取り組めます。そのための顔の見える関係作りを、日頃から構築していきます。

オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

・利用者サービスの中心であるデイサービス事業では、始業時と、終業時のミーティングで、利用者の介護情報の共有に努めています。また、必要に応じて関係セクションに必要な情報を時間を置かず伝達し問題解決に繋がります。・地域情報についても、プラザ内の共有に努め、地域対応に、セクションによって情報差の無いように努めます。

● 地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組み

・最近、地域全体の高齢化や、独居高齢者、高齢二人世帯の増加が漸増の傾向にあり、潜在的な要介護世帯の増加が心配されます。このため、地域の見守りと要介護家族との連携を念頭に地域交流を展開します。・一方、高齢者の施設と見られがちな地域ケアプラザにあって、子育て支援の需要は宮崎にとって大きなものがあり、定期的な親子の交流事業や、子育てに悩む親の支援を含めた事業の展開を拡大します。・また、地域での読み聞かせのボランティア需要が見込まれ、ボランティア育成を引続き進めます。

イ 地域や地域住民との交流・連携の取り組みについて

・高齢者支援、障害者支援、子育て支援、ボランティア育成等の具体課題について、地域と連携し取り組んでいきます。・また宮崎を取り巻く地域は、その置かれた地域的特性から、防犯事業に重点的に取り組んでいます。このため、当ケアプラザが事務局となり、地域をあげて防犯活動に取り組めます。特に小学校の児童の登下校の見守り活動に重点を置き、今年度も事業展開を図ります。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回開催予定日 6月19日（火）14：00～15：00

出席予定者：運営委員 17名 区事業企画係 1名 CP 9名ほか

議 題：新年度委員紹介

- ・平成18年度事業報告
- ・平成18年度地域支えあい連絡会活動報告
- ・平成19年度事業計画
- ・その他 運営委員の構成について

第2回開催予定日 11月中旬

出席者：運営委員、区役所ほか

議 題：平成19年度上半期事業報告

エ ボランティア育成、及び協働について

- ・ ボランティア講座 OB の方の継続活動を支援。
- ・ 貸館利用団体のボランティア活動支援・コーディネートは、「地域と貸室利用団体交流会」を開催し地域への活動をアピールします。また施設内のデイサービスや自主事業等では、多くの団体がレクレーションボランティアとして活動をしており、引き続き支援します。・ 地域の中で子育て支援ボランティア活動をしている方のスキルアップ講座「読み聞かせ講座」を開催。参加者の声もあり、西区初の乳幼児向けおはなし会のボランティアグループ立上げへと支援します。・ 地域防犯ボランティアグループ「まもり隊」(地域支えあい連絡会から発展した活動)との小学校との交流会を開催・一斉下校時の小学校との連携による見守り活動、警察署での地域の防犯教室、抑止効果のため警察署との地域一斉パレードなどをコーディネート。また、日頃の見守り活動のための情報通信発行や関係機関との調整などを行います。
- ・ 自主事業「男性のための料理教室」OB 会の、料理を通しての、地域やケアプラザ事業などでのボランティア活動をコーディネートし、男性高齢者の活動の場を広げます。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

- ・ 現在の稼働率の水準を上げるため、地域に貸館の機能を周知し、利用の促進を図ります。昨年同様、文化施設や桜木町駅から近いため地域住民外の団体利用率は多いものの、ケアプラザ本来の目的である地域の活動拠点としての貸室の機能には課題があり、今以上に地域の団体やボランティアの方々に存在を知ってもらい、地域での利用の促進を図ります。
- ・ 地域住民の利用率を上げるために ⇒地域住民に、ケアプラザを知っていただくために「地域コミュニケーション講座」を引続き展開し、利用を促します。

カ 地域活動・交流部門における自主事業の実施について

- ・ 課題であった宮崎地域ケアプラザの周知を今年も促進するため、ケアプラザの設置目的、機能などを知っていただくことを重視した「コミュニケーション講座」を地域住民が興味のあるカテゴリーで引続き展開します。・ 子育て支援は、参加親子も順調に増えてきているため、昨年度に引続き、本来の子育て支援(子育て相談、母子関係や子どもたちの発達チェック、交流の場など)事業の内容を継続し、西区子ども家庭支援担当との連携を継続していきます。・ 地域支えあい連絡会から発展した活動「下校パトロール まもり隊」。本年度も、小学校児童との交流や活動の連携の調整、また関係機関(警察署や交通安全協会、警察 OB 会)との共催事業開催コーディネートを地域の防犯活動を支援します。

キ 地域福祉保健計画の推進への取り組みについて

- ・ 西区地域福祉保健計画の柱である、「安全安心」を始めとした諸課題について、「まもり隊」活動の推進など、プラザの日常活動を通してその実現推進に努めます。
- ・ また、プラザの拠点化等についても、ボランティアとの関係作り等を通して実現に近づけるなど、拠点としてのあり方に近づけていきます。

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ①地域に出向く機会（ふれあい会・地域社協などで開催された食事会やお茶会等のイベント）に参加するのみでなく、今年度は地域の医療機関・居宅介護支援事業所等にも訪問します。
- ②ケアプラザ内での行事（ミニデイサービス・体操教室・宮崎まつり）に参加します。上述のような機会を利用し、チラシ・リーフレットなどの媒体を使用し包括支援センターの役割等について説明し、認知度を高める工夫をします。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ①上述の機会を利用して基本健康診査の受診推奨を行い、その後、介護予防支援事業へとつなげます。また、その際、血圧測定等を含め健康・介護相談会を実施し地域の保健福祉活動の一端を担います。
- ②地域づくりとしては、民生・児童委員の研修や地区別担当者会議に参加し意見交換会や事例検討、地域診断などの作業を通して地域ニーズの把握に努めます。
- ③10月の宮崎まつりで、主に地域の方々を対象に健康増進関連のイベント（内容は未定）を実施します。また会場内に個別の健康・介護相談のコーナーを設けます。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業

平成19年度の横浜市西区での人口の基礎データ

* 宮崎包括担当エリアでの予防給付数・・・99名（19年3月現在）

①介護保険認定状況（西区全体：19年4月現在）

経過的要介護・・・0名
要支援1・・・217名
要支援2・・・493名
要介護1・・・543名
要介護2・・・580名

②特定高齢者について

（西区全体：19年4月1日現在）

65歳以上の高齢者数・・・16559名
65歳～75歳未満・・・8452名
75歳以上・・・8107名

* 19年度の宮崎包括担当の推定特定高齢者数
（16559名×5%）÷4ケアプラザ＝207名

エ 総合相談・支援事業

- ・ 地域に開かれた窓口として、包括職員が毎日1名以上は出勤しているようにシフトを組んで対応します。
- ・ 独居（日中独居を含む）の高齢者や介護認定を受けているがサービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者、民生委員や区役所職員等からの依頼を受けたケースに対し、助言・訪問を適宜行ます。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

- ①今年度中に地域住民を対象に、「成年後見制度の劇：かもめ座」を開催する予定。
- ②高齢者の虐待の恐れがあるケースには、区役所、ケアマネ等関係機関と連携し、担当者が一人で抱え込まないように複数で情報を共有しながら対応します。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ・ 居宅介護支援事業所や医療機関へサービスマップの配布等の訪問活動を通じて顔のみえる関係作りを行います。
- ・ ふれあい会など地域に出向く機会を通じて、制度の普及啓発・地域ニーズの把握を行います。
- ・ サービス担当者会議については、区役所との定例カンファレンスに合わせて開催を支援します。また随時、自宅等へも出向き会議に参加します。
- ・ 西区ケアマネジャー研究会の役員会や定例会へ出席し、後方支援を行います。その中で、特に医療連携についての充実を図ります。
- ・ 西区役所と西区内の包括の主任ケアマネジャー合同で、就任予定・新任ケアマネジャーを対象に、研修や実習を行います。

キ 介護予防支援業務の取り組みについて（実施体制等）

《職員体制》

三職種（看護師・主任ケアマネ・社会福祉士各1名）体制で、取り組みます。
また、19年4月から介護予防専任の常勤者1名を採用し、4名体制で介護予防支援業務に従事します。

《目標》

昨年同様に、制度等に起因する混乱を最小限になるよう留意し、適切なマネジメントの元、サービスを提供し、定期的にモニタリング・見直しを行い、利用者の生活を支援していきます。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

介護予防支援のマネジメント業務に関して、実費負担はなし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者数》 19年3月現在の利用者数 99人

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
+10	15	20	25	30	35
10月	11月	12月	1月	2月	3月
40	45	50	55	60	65

通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成 ●介護サービス（移動、食事、排泄、入浴の介助見守当）
- 生活指導（相談援助等） ●健康状態の確認
- 機能訓練 ●送迎 ●入浴 ●給食 ●レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（経過的要介護）	645円
（要介護1）	718円
（要介護2）	837円
（要介護3）	955円
（要介護4）	1074円
（要介護5）	1193円
● 食費負担	500円
● 入浴負担	53円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週7日（年末年始（12/29~1/3）を除き年中無休）

《提供時間》 9:50~16:10 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
生活相談員 4名（常勤専従2名 常勤兼務2名）
看護職員 3名（常勤専従0名）
介護職員 21名（常勤専従1名 常勤兼務3名）
運転職員 6名

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ない利用者に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、利用者個人に有する能力に応じ自立した日常生活ができるようにサービスを提供します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・年2回（6月、12月）利用者アンケートを実施し、その結果を利用者に公表し、サービス改善に努めます。
- ・ 毎食前、口腔機能体操を取り入れ、食後の義歯洗い、漱ぎを行います。
- ・ 食事の改善・充実に努めます。
- ・ 運動機能体操の充実に努めます。
- ・ クラブ活動（園芸・手工芸）を実施し、レクリエーションの充実に努めます。
- ・ プライバシーの尊重、個人情報の保護を徹底、職員のマナー向上に努めます。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
660	682	660	682	682	660
10月	11月	12月	1月	2月	3月
682	660	616	616	616	682

介護予防通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成 ● 健康状態の確認
- サービス計画に基づいた機能訓練体操 ● 送迎・入浴
- レクリエーション ● 給食

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2360円（月額）
 - （要支援2） 4614円（月額）
- 食費負担 500円（1回）
- アクティビティ 86円（月額）

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週7日（年末年始（12/29~1/3）を除き年中無休）

《提供時間》 9：50～16：10 （半角で入力 例 9：00～15：00）

《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務。

《目標に対する取組状況》

個別のサービス計画書に沿った機能訓練体操をアクティビティの中で提供し、楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

通所介護事業と同じ

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
210	217	210	217	217	210
10月	11月	12月	1月	2月	3月
217	210	196	196	196	217

《職員体制》

- ・ 管理者… 1名(常勤兼務)
但し、平成19年3月1日付で、管理者を介護支援専門員の有資格者にした変更届を提出済みです。
- ・ 介護支援専門員… 1名(常勤専従)

《目標》

- ・ 利用者様一人ひとりの生活のニーズの把握と介護度に応じた適切なサービス計画(ケアプラン)の作成に努めます。
- ・ 利用者様等の信頼関係に基づいた相互関係の中で援助を行います。
- ・ サービス事業者等と連絡調整を図り、問題解決に向けて取り組みます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 各種講習会・研修会に積極的に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めています。
- ・ ケアプラン作成後も利用者様・家族様と連絡を取り、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援しています。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
30	30	30	30	30	30
10月	11月	12月	1月	2月	3月
32	32	32	32	32	32

<以上>

平成19年度自主事業計画書(包括)

横浜市宮崎地域ケアプラザ

1/1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
AEDの使い方を学ぼう(地域交流との共催)	目的;地域の方を対象にAED(自動体外式除細動器)の使い方及び心肺蘇生法を学ぶ。 内容;消防署職員によりAEDの使い方や心肺蘇生法のやり方を学び、実際に人形モデルを使って実習する。	第1地区(6月25日開催) 第4地区(未定)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的;介護者の情報交換や憩い・リフレッシュの場。内容;茶話会や介護に関する勉強会・施設見学等を行ったり、レクリエーションとしての遠足やもの作り等を行って行く。	原則毎月7日の日 19年度は4月を除き11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公開講座	目的;地域の方を対象に健康・保健・福祉関係の啓発を図る。内容;保健・福祉の専門職による講義形式(例;認知症について学ぼう、認知症を防ぐ工夫等)	19年度内に1回程度開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域出張健康教室	目的;地域住民を対象とした介護予防や健康増進の基盤作り 内容;地域に出向く機会を利用し、そこで、健康・介護相談会を開催したり、介護予防の体操等を実施する。	随時

平成19年度自主事業計画書(交流)

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・ 定期事業

NO. 1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「しあわせサロン 宮崎」	目的：65歳以上の一人暮らし、75歳以上の高齢者夫婦世帯の方で自力で会場まで来られる方を対象にした、見守り・交流の場・介護予防を目的とした会食会。 内容：血圧測定、体調確認、会食会、レクレーション（別紙参照）など	毎月第2・3水曜日 11:00~14:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 わくわく親子プラ ザ	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。 子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：別紙参照	毎月第1月曜日 10:30~12:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 みやぎキッズ	目的：公園などの遊び場の減少・遊び場の安全など地域の親子の要望を踏まえて場の提供 内容：未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。また毎回、お楽しみタイムを設けCPとのコミュニケーションを図る。	毎月 第1月曜日 13:00~17:00 第3月曜日 13:30~17:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい者支援事業 ティーサロン (新規)	目的：障がい者(種別なし)と地域の方の交流の場であり、地域の拠点として様々な方が集う場の提供。 開催内容：PC講座の後の交流、学習の場として西区の障がい者作業所に協力をしていただき、開催する。	毎週土曜日 午前 7月より開始予定

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政(警察・消防署・区)との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り・防犯活動は町内会単位でほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校分 毎月発行。

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・単発事業（共催事業含む）

NO. 2

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月	地域コミュニケーション講座 ①「みんなでうたおう！」	目的：地域のボランティア（民生児童委員・ふれあい会・各地区社協・個人など）を対象の講座と全くCPを知らない方にCPを知っていただくための企画、運営。地域住民が望んでいる講座、教室を地域と協働で開催する。 内容：「うた」というカテゴリで、集まった地域ケアプラザを知らない地域住民に知っていただく。また、童謡やなつかしいうたをうたい、地域住民の交流の場とする。	4月28日（土） 13:30～15:30
5月	読み聞かせボランティア講座	目的：西区内に未就園児向けの読み聞かせボランティアグループの立ち上げ、活動。 内容：①おはなし会とは②おはなし会を楽しくするために③おはなし会を実践してみよう！を三本柱に、おはなし会の企画、構成、運営を学び実践してみる。	5月14日・28日 6月4日の全3回 10:00～12:00
6月	障がい者支援事業 パソコン講座	目的：パソコン講座を通して障がい者とのコミュニケーションを図る場。また地域の方への啓発・あるいは新しい担い手の発掘の場。また、7月からの定期事業「サロン」へ繋げていく。 内容：ワード、エクセルの基本を学びながら、精神障がい者と接していただく。PCの知識を付け精神障がい者への偏見をなくす。	6月の土曜日 全5回 10:00～13:00
7月	中学生のボランティア講座 （7月～8月・全5回）	目的：昨年に続き2回目、中学生のボランティア活動スタートのきっかけづくり、また地域の新しい担い手としての発掘の場。 内容：1～3回目は高齢者・障がい者・子育て支援/CPの役割を学ぶ。4回目は各関係機関に協力頂きボランティア体験。5回目は活動報告・交流会。	7月24日（火）～7月26日（木） 10:00～12:00 7月30日（月）～8月11日（土） うちの1日体験 8月20日（月） の全5回
	①障がい者啓発講座	目的：障がいのある方自身の「地域の中には障がいのある人も一緒に暮らしていることを知ってもらいたい」「地域の中で私たちにできることはないのか」との声から昨年度、単発事業を開催。今年度は不定期ではあるが何度か、地域住民の方との交流を主とした会を開催。 内容：1回目は地域に住む中学生との交流・啓発を予定。	開催日時未定 7月は中学生ボランティア講座に組入る 日程未定 10:30～12:30
	地域コミュニケーション講座 ②「歌舞伎鑑賞」	内容：7月は全くCPを利用したことのない地域住民向けに地域交流会食会（「CPって何？」講座開催）と近隣の施設を利用した歌舞伎鑑賞。	7月27日（金） 12:00～17:00
8月	障がい児余暇支援活動	区社協との共催。 障がい児家庭の長い休み期間の支援。	7月 7日（土） 8月 9日（木） 8月10日（金） 8月23日（木）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数	
9月	ボランティア講座	目的：ボランティア活動に興味はあるが、なかなか一歩を踏み出せない方のための講座。地域の資源の発掘。CP各種事業（ミニデイ食事づくり、会場設営・わくわく親子プラザ・デイサービス、サロン・PCボラなど）のボランティア育成。 内容：前半はボランティアの一般的なことの研修と活動紹介。後半は興味をもった活動をより一層学ぶ。ボランティア体験。	未定
10月	第8回宮崎まつり	目的：①多くの地域住民に地域ケアプラザを知っていただき地域の福祉・保健目的の活動拠点としてして利用していただく。②まつりを通して地域住民（地区社協）や当CPボランティア、貸室団体、職員と行政の交流の場であり繋がりを深めていく。 内容：地域住民、作業所、ボランティア団体の模擬店。貸室団体、ボランティア団体の催し物。など	13日（土） 11:00～14:00
11月	お父さんのわくわく親子プラザ	目的：未就園児の父子を対象にした、親子のコミュニケーション方法を学ぶ。 内容：体を動かすコミュニケーション（親子体操・リズム遊び・手遊び）を中心に学ぶ。	祝日または土曜 10:30～12:30
	男性の居場所づくり講座	目的：団塊の世代の男性を中心に、クラシック音楽をカテゴリーとして集め、CPを知っていただき、福祉保健活動への地域デビューを促す。 内容：クラシック音楽に興味のある男性の方向けの講座。その講座の中で福祉保健活動地域デビューを促す講座も展開していく	未定
12月	②障がい者啓発講座	目的：上記記載 内容：未定	未定 土曜の午後
1月	異世代交流サロン	目的：地域の高齢者（65歳以上）と幼稚園児のふれあい交流会。顔見知りになるきっかけづくり。	水曜以外の平日 11:30～13:30
2月	①貸館利用者交流会	目的：日頃の練習成果を披露していただくと共に、地域や当CPでのボランティア活動への啓発や貸館利用者同士の情報交換の場。地域との交流の場。	土・日または祝日 13:00～16:00
	③障がい者啓発講座	目的：上記記載 内容：未定	未定 土曜の午後
3月	①ボランティア交流会	目的：日頃のボランティア活動に感謝の意を職員一同表すと共に、CPの各事業での様々なボランティア活動があることの紹介やボランティア同士の情報交換の場、地域とボランティアのコーディネート場。	平日 13:30～15:30

平成19年度自主事業収支計画書(包括)

事業名	①対象 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域体操リーダー養成講座	①ボランティアとして地域での体操指導を担ってくれる方	なし	なし	800円/人	16万円	なし	なし
	②21名から27名						
	③800円(スポーツ保険に充当)						
転等骨折予防教室	①特定高齢者	50万	なし	なし	32万	個人ファイル等	体前屈測定器
	②10名						
	③なし						
フットケア教室	①特定高齢者	なし	なし	なし	なし	個人ファイル等	
	②7名						
	③なし						
介護者のつどい	①介護者と本人または介護に関心のある方						
	②4月(15名)						
	6月(13名)						
	7月(9名)						なし
	8月(11名)						
	9月(17名)						
	10月(14名)						なし
	11月(19名)						
	12月(8名)						
	1月(13名)						9529名
	2月(10名)						
	3月(14名)						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成19年度 自主事業収支計画書(交流)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者支援事業 しあわせサロン宮崎	70歳以上の一人暮らし・日中独居	533,000	180,000	383,000	22,222	470,778	52,000
	75歳以上の高齢者世帯						
	各30名ずつ 450円						
子育て支援事業 親子わくわくプラザ	未就園親子	100,000	95,000	5,000	33,333	66,667	0
	なし						
	原則なし 内容により徴収						
子育て支援事業 みやぎキッズ	未就学親子	50,000	50,000	0	39,996	10,004	0
	なし						
	なし						
障がい者支援事業 ティーサロン	地域住民誰でも	60,000	60,000	0	26,664	0	23,336
	なし						
	お茶代実費						
読み聞かせボランティア講座	地域住民誰でも	33,333	33,333	0	33,333	0	0
	20名						
	なし						
障がい者支援事業 パソコン教室	地域住民誰でも	100,000	50,000	50,000	55,555	30,000	14,445
	20名						
	PC:500円 テキスト代1,500円						
地域支援事業 まもり隊	地域住民	10,000	10,000	0	0	0	10,000
	なし						
	なし						
男性の居場所づくり講座	全回参加可能な男性	80,000	30,000	50,000	55,555	20,000	4,445
	20名						
	500円						
地域コミュニケーション講座	講座の内容により変わる	175,500	60,000	115,500	44,444	11,056	120,000
	講座の内容により変わる						
	講座の内容により変わる						
障がい者啓発講座	地域住民誰でも	50,000	50,000	0	0	9,000	41,000
	なし						
	なし						
中学生のボランティア講座	区内在住中学生	10,000	10,000	0	0	0	10,000
	20名						
	なし						
宮崎まつり	地域住民誰でも	250,000	150,000	100,000	0	200,000	50,000
	なし						
	なし						
お父さんの わくわく親子プラザ	未就園父子	20,000	20,000	0	11,111	0	8,889
	15組						
	なし						
異世代交流サロン ふれあい交流会	65歳以上の一人暮らし・日中独居	20,000	20,000	0	0	10,000	10,000
	75歳以上の高齢者世帯						
	30名						
貸館利用者交流会	貸館利用者	10,000	10,000	0	0	0	10,000
	なし						
	なし						
ボランティア交流会	当CPボランティア	20,000	20,000	0	0	0	20,000
	なし						
	なし						
		1,521,833	848,333	703,500	322,213	827,505	374,115

事業ごとに別紙に記載してください。

平成19年度 地域ケアプラザ資金収支予算内訳表

施設名：横浜市宮崎地域ケアプラザ

(自)平成19年4月1日

(至)平成20年3月31日

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	19,105	22,798				
	介護保険収入			3,000	4,700	82,597	14,000
	その他	0	0	0	0	2,830	0
	雑収入					2,800	
	受取利息等					30	
	収入合計(A)	19,105	22,798	3,000	4,700	85,427	14,000
支出	人件費	10,689	20,039	3,000	13,930	51,807	
	事務費	623	350	800	483	7,387	
	事業費	1,910	900		232	14,958	
	管理費	5,348	1,509				
	その他	535	0	0	0	11,349	0
	消費税	535					
	経理区分繰入金支出					5,060	
	予備費その他等					6,289	
支出合計(B)	19,105	22,798	3,800	14,645	85,501	0	
収支 (A) - (B)	0	0	-800	-9,945	-74	14,000	

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をして (単位:千円)